



ファームウェアバージョン :	V4.2.0.3
ハードウェアバージョン :	A1
発行日 :	2013/6/28

本リリースノートには、ファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用の製品に対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しい製品にインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用の製品がファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
注意事項 :	2
USB ドライブへのコンフィグ自動バックアップ/自動リストアについて	2
アップグレード手順 :	3
Web-UI を使用するアップグレード	3
追加機能 :	5
修正した問題点 :	5
既知の問題 :	8

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：V4.2.0.3	2013/6/28	DWC-1000	A1

注意事項：

- アップグレードするファームウェアは、すでに本製品に入っているファームウェアと同じ地域向けのものを使用してください。
- V4.1.0.2_10204 から V4.2.0.3 へ直接アップグレードを行うと、一部の設定が引きつがれません。設定を引き継ぐ必要がある場合は、V4.1.0.2_10204 から V4.1.0.2_10222 にアップグレードしてから、V4.2.0.3 へアップグレードを行ってください。

USB ドライブへのコンフィグ自動バックアップ/自動リストアについて

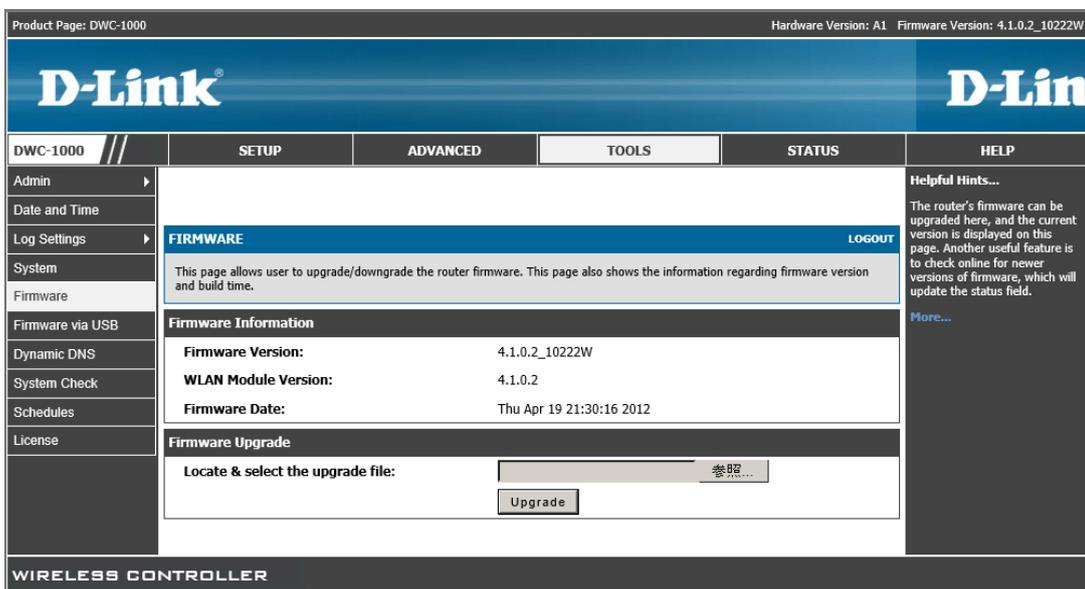
本製品は USB ドライブへコンフィグを自動的にバックアップ/リストアすることができます。以下はバックアップ/リストアについての情報です。

1. USB ドライブが挿入されるとすぐに、コンフィグは自動的に USB ドライブへ保存されます。ファイル名は“<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg”になります。(※USB ドライブ内にすでにバックアップされたコンフィグファイルが存在しない場合のみ)
2. 本製品のシステム LED が橙色に 3 回点滅した場合は、バックアップが開始されています。
3. Web GUI の「Save Settings」をクリックすることで、USB ドライブにコンフィグを保存することができます。ただし、すでに USB ドライブ内に保存されているコンフィグファイルと、新しく保存するコンフィグのモデル名とシリアルナンバーが一致する必要があります。
4. リブートを行った場合、本製品はコンフィグファイル（<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg）の有無をチェックします。コンフィグファイルが存在した場合は、そのファイルがリストアされます。2 つの USB ドライブにコンフィグファイルが存在した場合、1 つ目の USB ドライブにあるファイルがリストアされます。
5. USB ドライブに保存できるのは、各モデル名につき 1 つのコンフィグのみです。(フォーマットは、“<モデル名>_<シリアルナンバー>.cfg”です)
6. 工場出荷時状態の本製品に USB ドライブを挿入しリブートを行った場合は、USB ドライブにコンフィグは保存されません。本製品に設定を変更したコンフィグファイルが存在しないためです。Web GUI の「Save Settings」をクリックすることで、USB ドライブにコンフィグが保存されるようになります。

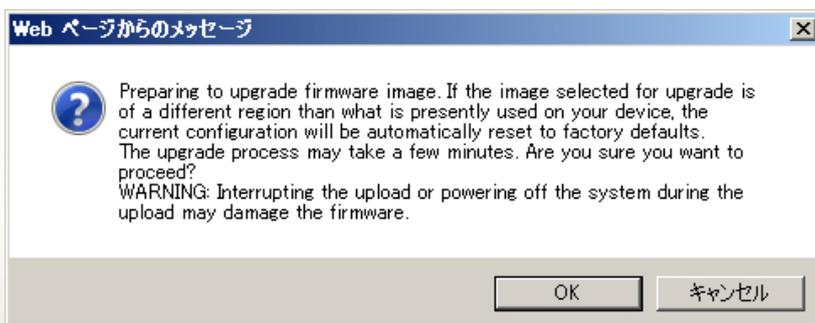
アップグレード手順：

Web-UI を使用するアップグレード

1. Web GUI にログインします。
IP アドレス、サブネットマスク、ユーザ名、パスワードの初期値は以下の通りです。
 - IP アドレス：192.168.10.1
 - サブネットマスク：255.255.255.0
 - ユーザ名: admin
 - パスワード: admin
2. **TOOLS > Firmware** の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



3. 「参照」をクリックしてファームウェアイメージの場所を選択→「Upgrade」をクリックします。
4. 以下の画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



5. 進行状況を表す画面が以下の順に表示されます。

注意：

ファームウェアのアップグレードには数分かかります。

アップグレード中は、電源を切ったり Web ブラウザを閉じたりせず、そのままお待ちください。

Product Page: DWC-1000 Hardware Version: A1 Firmware Version: 4.1.0.2_10222W

D-Link®

DWC-1000 // SETUP ADVANCED **TOOLS** STATUS HELP

Admin
Date and Time
Log Settings
System
Firmware
Firmware via USB
Dynamic DNS
System Check
Schedules
License

WARNING: The upgrade process takes a few minutes.
Interrupting the upload or powering off the system during the upload may damage the firmware.
Please wait until the upgrade process finishes before browsing any sites from your browser.

2%

FIRMWARE LOGOUT

This page allows user to upgrade/downgrade the router firmware. This page also shows the information regarding firmware version and build time.

Firmware Information

Firmware Version: 4.1.0.2_10222W
WLAN Module Version: 4.1.0.2
Firmware Date: Thu Apr 19 21:30:16 2012

Firmware Upgrade

Locate & select the upgrade file: C:\DWC-1000_A1_FW_v4.2.0 参照...
Upgrade

Helpful Hints...
The router's firmware can be upgraded here, and the current version is displayed on this page. Another useful feature is to check online for newer versions of firmware, which will update the status field.
More...

WIRELESS CONTROLLER



Product Page: DWC-1000 Hardware Version: A1 Firmware Version: 4.1.0.2_10222W

D-Link®

DWC-1000

STATUS MESSAGE

Router will be up in 2 Seconds

6. ログイン画面が表示されるので、再度ログインしファームウェアバージョンを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
V4.2.0.3	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャプティブポータル機能を強化いたしました。 2. WCF ライセンスをサポート致しました。 3. WLAN ウィザード機能を強化致しました。 4. VPN フェイルオーバーをサポート致しました。 5. WLAN Visualization の機能を強化致しました。 6. 認証メカニズムを追加致しました。 7. ホットスポットをサポート致しました。 8. WDS をサポート致しました。 9. 「Auto Refresh」チェックボックスを AP モニタリング画面に追加致しました。 10. Valid AP 画面>Radio セクションにて、「Power」欄の選択肢を「0」から「Profile」に変更致しました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V4.2.0.3	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「Deny Login from Defined Addresses」で GUI へのログインを拒否したユーザが、GUI へログインできてしまう問題を修正致しました。 2. 「.csv」形式のファイルを DWC-1000 にアップロードできない問題を修正致しました。 3. 「System Check」画面で「Enter」をクリックすると、自動的にログアウトする問題を修正致しました。 4. L2 VLAN ディスカバリの問題を修正致しました。 5. キャプティブポータルのログインページで、ユーザ名とパスワードが読めないフォーマットに変更される問題を修正致しました。 6. キャプティブポータルでログイン後に「Change password」オプションが表示される問題を修正致しました。 7. L3 ネットワークセットアップで、SSID キャプティブポータルが動作しない問題を修正致しました。 8. キャプティブポータルのプロファイルステータス表示を「Enabled」/「Disabled」に修正致しました。 9. CLI で DHCP サーバを有効化した後 GUI から再度有効化しようとする、WINS サーバの設定をせずに LAN DHCP サーバを有効にできない問題を修正致しました。 10. SSID ページにて、WPA/WPA2 のワイヤレスセキュリティパラメータが正しく表示されない問題を修正致しました。 11. リブート後、キャプティブポータルユーザのアイドルタイムアウト/セッションタイムアウトがカスタム SSID で動作しない問題を修正致しました。 12. UPnP の脆弱性についての問題を修正致しました。 13. ワイヤレスクライアントから、ある SSID 用に設定された特定のキャプティブポータルページへリダイレクトされない問題を修正致しました。 14. Internet Explorer 9 (64bit)を使用している場合、キャプティブポータル SSID セットアップ画面において、認証サーバオプションがグレースアウトする問題を修正致しました。 15. CLI コマンドがすべての情報を表示しない問題を修正致しました。(UDP Connection limit/Allow Ping from LAN)。

16. 「カテゴリフィルタリングを有効化するとコンテンツフィルタリングが影響を受ける」旨の警告メッセージを、カテゴリフィルタリングを有効化する際の画面に追加致しました。
17. Internet Explorer 9 (64bit)において、キャプティブポータルプロファイル設定が反映されない問題を修正致しました。
18. ファームウェアをアップグレード後、ユーザを編集・削除できない問題を修正致しました。
19. キャプティブポータルへユーザがログインした際のログをサポート致しました。
20. ポート 443 をリモートマネジメントポートに設定できない問題を修正致しました。
21. 「Block TCP flood」の初期設定を無効に致しました。
22. Internet Explore で表示したキャプティブポータル設定画面においてプレビューボタンをクリックすると、ユーザセッションがタイムアウトする問題を修正致しました。
23. オンラインヘルプのリモートマネジメント有効化の記載において、実際はサポートされていない WAN 経由の Telnet が記載されている問題を修正致しました。
24. コンフィギュレーションスクリプトを作成できない問題を修正致しました。
25. バックドア/セキュリティの問題を修正致しました。
26. クライアント認証において、Global Action を設定できない問題を修正致しました。
27. キャプティブポータル画面のカスタマイズに関する問題を修正致しました。
28. ユーザが RADIUS サーバで認証を行おうとした後に、DWC が突然ブレイクダウンする問題を修正致しました。
29. インターネットにアクセスしようとする、キャプティブポータルのログアウトページにリダイレクトされる問題を修正致しました。
30. AP Profile のハードウェアタイプが DWL-3600 に設定されている場合、「AP Profile」 > 「Configure SSID」画面の SSID チェックボックスがグレーアウトするに問題を修正致しました。
31. 「Advanced」 > 「SSIDs」画面から、特定の文字を含む WPA/WPA2 キーが設定できない問題を修正致しました。
32. ユーザファイルに追加情報を保持している RADIUS サーバで認証を行いキャプティブポータルにログインしようとした場合、「500 internal server error」とメッセージが表示される問題を修正致しました。
33. デバイスのリブート中、デバイスシェルに不要なログが表示される問題を修正致しました。
34. AP L2 VLAN ディスカバリをサポートしていない問題を修正致しました。
35. L2 Distributed Tunneling モードにおいて、トンネルを確立することができない問題を修正致しました。
36. MIB ブラウザを使用してファームウェアバージョンを入手した場合に、地域コードが消えている問題を修正致しました。
37. CLI で表示した場合に、ファームウェアバージョンの地域コードが表示されない問題を修正致しました。
38. GUI の SSL VPN Client ページでファームウェアバージョンに「WW」が表示されない問題を修正致しました。
39. キャプティブポータルのログインページにポップアップウィンドウが表示される場合がある問題を修正致しました。
40. 「Advanced」画面で文言の表示が正しくない問題を修正致しました。
41. 「Poll List」「Local OUI Database」「Edit Channel/Power」ページで GUI 表示に不具合がある問題を修正致しました。
42. トラフィックダッシュボード画面をクリックすると、ボックスのパワーサイクル直後は、内部エラーページになることがある問題を修正致しました。
43. デフォルトサービスおよびカスタムサービスのフローベース QoS ポリシーに準拠しな

- いトラフィックが "BOTH"タイプで追加される問題を修正致しました。
44. カスタマイズされたキャプティブポータルへのクラスタリングがサポートされていない問題を修正致しました。
 45. キャプティブポータルで Disconnect management が動作しない問題を修正致しました。
 46. システムログが動作しない問題を修正致しました。
 47. CLI の警告メッセージ「The de-authentication attack is disabled」で「T」が消えている問題を修正致しました。
 48. キャプティブポータルで作成したプロファイルが、CP Interface Association ページに表示されない問題を修正致しました。
 49. デバイスの GUI にて手動でキャプティブポータルセッションを切断した後も、認証なしで WLAN ホストからのトラフィックを実行できる問題を修正致しました。
 50. キャプティブポータルの LAN 側および WLAN 側に対して Verification モードがあるべき問題を修正致しました。
 51. 定義したキャプティブポータルプロファイルが WLAN インターフェースに適用できない問題を修正致しました。
 52. SNMP Trap 画面と Distributed Tunneling 画面において、「Save Settings」ボタンが「Submit」と表示されている問題を修正致しました。
 53. Distributed Tunneling 画面の記述をアップデート致しました。
 54. WAN CP Interface Association 画面の記述が存在しない問題を修正致しました。
 55. CLI では 8600AP、3600AP、6600AP の H/W Capability リストが表示されるが、WEB では AP DWL-8600AP の H/W Capability リストのみが表示される問題を修正致しました。
 56. LAN DHCP Leased Clients ページにおいて、「DHCP」が「Dhcp」と表示される問題を修正致しました。
 57. SSID セットアップページにおいて、WPA/WPA2 でテキストエラーが発生する問題を修正致しました。
 58. 認証なしですべての AP のステータス画面にアクセスできる問題を修正致しました。
 59. いくつかの WLAN ページについて Help のコンテンツをアップデート致しました。
 60. 有線キャプティブポータルにおいて、外部認証が利用できない問題を修正致しました。
 61. IPv6 アドレスの AP ディスカバリ、マネージメント、モニタリングがサポートされていない問題を修正致しました。
 62. L3 トンネル(IP-IP トンネル)がサポートされず、L3 トンネル(IP-IP トンネル)についての Help が存在しない問題を修正致しました。
 63. セントラライズド L2 トンネルと IP-IP トンネルがサポートされていない問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
V4.2.0.3	<ol style="list-style-type: none"> 1. インターネット接続のスループットが遅い問題。 2. いくつかの GUI ページで(例：「AP Profile」 > 「Configure Radio」)、設定の保存後に保存完了のメッセージが表示されない問題。 3. 操作中に GUI からログインしてしまう問題。 4. ゲストユーザの権限設定が正しくない問題。 5. すべてのキャプティブポータル設定がクラスタに同期するわけではない問題。 6. ファームウェアダウングレードについての問題。 ファームウェアを V4.2.0.3 から V4.1.0.2 にダウングレードすると、LAN LED および CLI プロンプトが正しく表示されない問題。 回避策：リセットボタンを押してください。 (※リセットボタンを押すと設定が消去され、工場出荷時の状態に戻ります。) 7. ファームウェアアップグレードについての問題。 ファームウェアを V4.1.0.2_10204 から V4.2.0.3 に直接アップグレードすると、一部の設定が引きつがれない問題。 回避策：V4.1.0.2_10204からV4.1.0.2_10222にアップグレードしてから、V4.2.0.3へアップグレードを行ってください。

Copyright 2006-2013 D-link Japan K.K.